



## コミュタン福島 講座開講

交流棟「コミュタン福島」では今年も「コミュタンサイエンスアカデミア」と「ふくしまサイエンスコミュニケーション養成講座」を開講しています。（参加申込は締め切りました。）

今回は第1回～第3回までの講座の取組を紹介します。

また、特設サイトでも各回の活動の様子を発信していますので、ぜひご覧ください！



### 小中学生向け コミュタンサイエンスアカデミア

コミュタンサイエンスアカデミアは福島県の小中学生の探究心や主体性を育てるサイエンスクラブです。今年は小学生20名、中学生16名が参加して8月2日(日)にスタートしました。

さまざまな実験・体験を通して、ギモンを自分で追いかける「科学のあたま」を育てています。

#### Basicコース(小学生)

空気や電気など身の回りの目に見えない世界を知るための実験や高いところから卵を落としても割れないようにするためのアイデアの実践に取り組みました。



Basicコース

#### Advancedコース(中学生)

身近な地域や自分の体験を題材に自分から学ぶこと、多角的に考えることの練習をしたり、サポーターの高校生から科学の楽しみ方を教わりました。



Advancedコース

### 高校生以上対象 ふくしまサイエンスコミュニケーション養成講座

原子力災害を経験した福島の実状等について学び、多くの人々との対話を通じて、「ふくしまの今」を科学的な視点で伝えることを目的とした高校生以上対象の人材育成講座(全12回)です。

今年は高校生など15名が参加して8月9日(日)にスタートしました。

福島の実状・復興や放射線の基礎知識などを学び、自分の伝えたいことを確認しながら、サイエンスコミュニケーションとは何か、考えていきます。



## “ふくしまナラティブ・スコラ2020” My Story for 9years



東日本大震災から10年目を迎えるふくしま。県内から集まった22名の高校生がメンバーとなり、今のふくしまの環境や未来への想いを県内外に力強く発信する「ふくしまナラティブ・スコラ2020」が7月26日(日)にスタートしました！



震災当時は幼稚園生～小学生だったメンバーのみなさん。全9回のワークショップの中で、自分が最も伝えたい「念い(おもい)」を伝える力を磨きながら、今まで福島で生きてきた経験を見つめ直し、自分にしか語ることができない「物語」を考えていきます。

第1回～第3回のワークショップでは、プレゼンテーションを行う上でのポイントや科学的(客観的)視点と主観的視点の使い分けなどを学びながら、自分の考えを他者に伝えることにも積極的にチャレンジし、伝えることの楽しさ、難しさを体感しました。また、ふくしまの実状を学んだり、福島県出身で県内外で活躍している方々の経験を聞くことで、自分の伝えたい・自分にしか語ることができない「物語」について考えました。



## ～コミュタンサイエンスラボを開催しました！～



家族みんなで科学を楽しめるイベント「コミュタンサイエンスラボ」を8/13(木)から8/16(日)に開催しました！

### 市岡元気先生サイエンスショー

リモート開催

【開催日】8月15日(土)～16日(日)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモートでサイエンスショーを開催しました。

ステージ上でイベントスタッフが科学実験を行い、市岡先生からは科学の問題をクイズ形式で出題していただきました。



参加者がこれまでよりも科学について興味をもつきっかけになりました。

### サイエンスぐるぐるつながる探検隊

【開催日】8月13日(木)～16日(日)

NHK Eテレで人気の科学エンタメ番組「サイエンスサー」で取り上げたギモンに挑戦！

『〇〇させたい!』というお題をもとに、どうすれば実現できるか?楽しみながら科学の考え方を養うコンテンツを体験していただきました。



### 紫外線で色が変わるアクセサリーを作ろう!

【開催日】8月15日(土)～16日(日)

太陽の光が当たらない所では白く、光が当たるところで色が変わる不思議なビーズを使ったアクセサリー作り!オリジナルのアクセサリー作りと、紫外線による色の変化を楽しんでいただきました。



# 調査・分析部 放射能調査課の業務 ～総合モニタリング計画～

放射能調査課ではいろいろな放射線モニタリング調査を実施しています。今回は、国のモニタリング調整会議が策定する「総合モニタリング計画」に基づく業務のうち、海水浴場等における放射能調査と、日常食に含まれる放射能の調査について紹介します。

## 水浴場の放射能調査

県では毎年、県内の海水浴場や湖水浴場(以下、「水浴場」といいます。)において、水浴場を有する市町村の協力を得ながら、遊泳期間前と遊泳期間中の年2回、水質調査等を実施しています。

放射能調査課では、水浴場の空間線量率や、採水した水のセシウム濃度等を測定しており、令和2年度は、調査した28地点の水浴場の全てで特に異常はみられないことを確認しています。

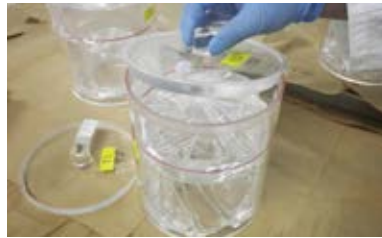
調査の結果は、県のホームページ(「福島復興ステーション」)において、速やかに公表しています。



空間線量率の測定



海水の採水



マリネリ容器



ゲルマニウム半導体検出器

※調査結果の掲載場所: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/ps-r2-suiyokujuyou.html>

## 日常食調査

放射能調査課では、毎年、県内の一般家庭の日々の食事(日常食)に含まれる放射性物質の濃度を調査しています。

昨年度(令和元年度)は、県内全域(15市町村)の一般世帯から選定した21名に協力を得て調査を行った結果、家庭における食事1キログラム当たりの放射性物質の濃度は、食品に関する基準値を大幅に下回っていました。

調査の結果は、県のホームページ(「福島復興ステーション」)において、速やかに公表しています。



日常食試料の前処理



試料を灰化炉で処理



灰化した試料の篩い分け



低バックグラウンドβ線測定装置(ストロンチウムの測定)

※調査結果の掲載場所: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/list280-894.html>

## 福島県環境創造センター

福島県の環境回復・創造に向けた「モニタリング」、「調査研究」、「情報収集・発信」、「教育・研修・交流」の業務を行っています。  
環境創造センターホームページより、県内市町村の空間線量、大気環境等のモニタリング情報を御覧いただけます。



## 福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」**入場無料**

TEL.0247-61-5721 FAX.0247-61-5727

○開館時間 9:00~17:00

○休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合、翌平日)・12月29日~1月3日

ホームページ <https://com-fukushima.jp/>



**車をご利用の場合** 磐越自動車道船引三春ICより約5分

**電車をご利用の場合** JR磐越東線三春駅より車で約12分

**三春町町営バスをご利用の場合** 三春駅~環境創造センター(コミュタン福島)へ

コミュタン福島をご利用の方はバス料金無料 年末年始(12月31日~1月3日)を除き毎日(1日4便)運行



田村西部工業団地内、ドームが目印です。